

バイオマスプラスチックと廃棄物 活用で実現する環境や人に優しい 製品づくり

株式会社ムロコーポレーション
経営企画室 企画チーム 市岡麻希子

一 会社概要・沿革

会社名	株式会社ムロコーポレーション
本社所在地	清原本社工場 〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地7番地1
代表者名	室 雅文
資本金	10億9,526万円(1万円未満は切捨)
上場・非上場	上場（東証スタンダード市場）
売上高	236億円（2024年3月期連結）
設立	1958（昭和33）年4月26日
従業員数	1,145名（2024年3月期連結）
国内拠点	烏山工場：栃木県那須烏山市 菰野工場：三重県 菰野町 横浜支店：神奈川県横浜市 名古屋支店：愛知県安城市 大阪支店：大阪府大阪市
事業内容	金属関連部品事業 自動車や農業・産業機械向けの金属部品を製造・販売。金型設計・製作と加工を基軸とし、切削、研削、熱処理、表面処理まで一貫対応。 樹脂関連部品事業 自動車・カメラ・医療機器向けの射出成形品を提供。金型設計から成形まで一貫して対応し、バイオプラスチック製品の開発を推進中。 その他事業 連続ネジ締め機「VISLIDER」や、キッチン用品ブランド「GRASTONE」
主要販売先	国内自動車メーカーおよび自動車ユニットメーカー

沿革

1958年（昭和33年）4月

東京都港区芝西久保巴町に資本金を200万円で室金属工業株式会社を設立

1959年（昭和34年）4月

日・米・独特許の「マレットシム」を開発し、自動車および産業機械業界向けに販売開始

1968年（昭和43年）11月

各種集積回路のリードフレームのプレス加工技術を開発し、超精密プレス部品への基盤を確立

1990年（平成2年）3月

株式会社ムロコーポレーションと商号変更し、資本金を2億4,000万円に増資

1993年（平成5年）1月

カナダ国オンタリオ州にムロ ノース アメリカ インクを設立

1997年（平成9年）8月

株式を日本証券業協会に店頭登録し、資本金を8億9,725万円に増資

1998年（平成10年）7月

米国オハイオ州にムロテック オハイオ コーポレーションを設立

2001年（平成13年）11月

「ISO14001」に関する認証を取得

2002年（平成14年）12月

「ISO9001」に関する認証を取得

2004年（平成16年）12月

日本証券業協会への店頭登録を取り消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場

2005年（平成17年）8月

ベトナム社会主義共和国ドンナイ省アマタ工業団地にムロ テック ベトナム コーポレーションを設立

2012年（平成24年）7月

インドネシア共和国西ジャワ州スルヤプタ工業団地にピーティー ムロテック インドネシアを設立

2012年（平成24年）11月

タイ王国に合併で関連会社3MT (THAILAND) Co.,LTD.を設立

2013年（平成25年）7月

東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場

2014年（平成26年）11月

一般家庭用フルーツ皮むき機「チョイむき-smart」の販売開始

2016年（平成28年）10月

本社を清原工場に移転し、清原工場を清原本社工場と改名

2019年（平成31年）4月

イガリホールディングス株式会社およびその子会社である
いがり産業株式会社を中核とするいがりグループを連結子会社化

2019年（令和元年）10月

中国湖北省に陸諾汽車部件（湖北）有限公司を設立

2021年（令和3年）6月

3MT(THAILAND) CO., LTD.を連結子会社化

2022年（令和4年）4月

東京証券取引所の市場区分の見直しに伴い、スタンダード市場へ移行

2022年（令和4年）12月

「IATF16949」に関する認証を取得

2023年（令和5年）2月

「IATF16949」に関する認証をムロテック オハイオ コーポレーションにて取得

2023年（令和5年）2月

「ISO9001」に関する認証を北関東プレATING株式会社にて取得



サステナビリティをテーマとした「ものづくり」

事業成長



サステナビリティ
ブランド

M&Aを通じた成長と サステナブル戦略

- 2022年サステナビリティをテーマとしたブランド **MGGP** を立ち上げ
- 環境配慮型のエコ材料を活用した製品開発を開始

樹脂事業による取り組み

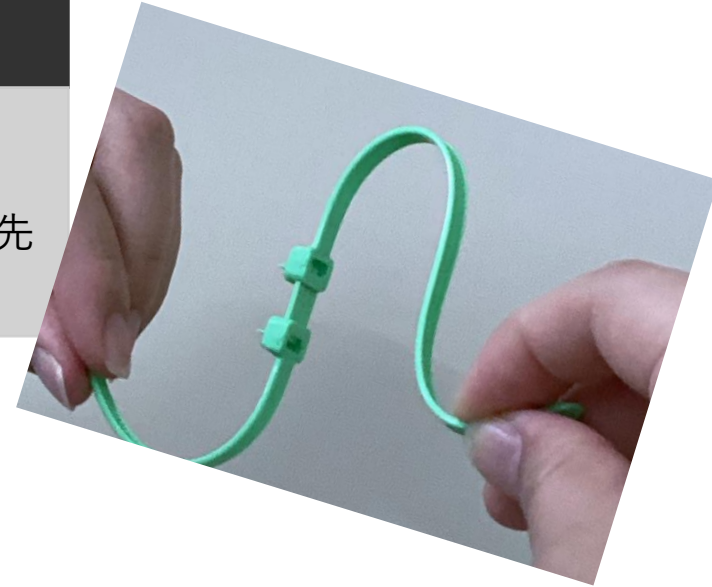
生分解性・バイオマス樹脂を活用した園芸用製品の開発・製造・販売

樹脂事業以外の取り組み

廃棄物の活用も含めたサステナブルな素材への転換による製品の価値向上

ヒット製品「やわらかバンド」から得た学び

素材	特徴
・ バイオPE ・ 植物由来 ・ 環境負荷の低減 ・ ポリエチレンと同等性能	・ やわらかい結束バンド ・ 柔軟性と操作性の高さ ・ 女性、高齢者、子供、指先の不自由な方に喜ばれる



MGGP

市場の反応と戦略転換

- 「環境配慮型」プラスチックの活用を訴求
→ **価格とニーズのミスマッチ**
- 「使いやすさ」という顧客体験を重視
→ **環境配慮＋利便性の両立**
- 「環境配慮 × 体験価値」が市場に受け入れられる要素であることを確信

MGGPの取り組み、樹脂事業から廃棄物活用へ：ガラスビーズ活用プロジェクト 廃材を資源に変える取り組み

背景と目的

- **MGGPの一環として環境負荷低減と資源活用を推進。**
- **廃棄物削減と新たな市場価値創出を目指す。**

製品化プロセス

- 立風製陶(株)と連携：ガラス入り珪藻土コースターの製造実績をもつ。製品化に向けて配合比率を調整。
- デザインも重視：魅力的な製品を目指しデザインを検討。
- まずはプロトタイプとしてノベルティ用に製作

取り組みの効果

- 廃棄物削減：ガラスビーズを再利用し、産業廃棄物を低減。
- 環境負荷低減：持続可能な製品開発でSDGsに貢献。
- 異業種連携：素材×技術で新たな価値を創出。

課題

- 消費量はごくわずか。さらなるアップサイクル展開が必要。



バイオプラスチックや再生材、廃材などサステナブル素材による持続可能な活用へ

これまでの取り組み

事例 1. バイオプラスチック（生分解性やバイオマス）、再生材による製品化

事例 2. 生産工程から廃棄されるガラスビーズの活用を推進

事例 1. 単純に「環境に優しい」だけでは、消費者に受け入れられない

コストの課題もあり、環境配慮型素材の使用だけでは市場競争力を確保するのは困難。

事例 2 持続可能な形で廃棄物の活用はできているのか？

珪藻土コースターに数%混ぜることで、当社の思いや環境配慮の姿勢をお客様へ届けることができた。しかし、これは「持続可能な形」で価値創造できているか？

持続可能な活用へ

発想を転換

環境配慮素材で物を作るのではなく、消費者に新たな“体験”を提供する製品化を目指す

消費者の体験価値を高める「バイオプラスチック製品の開発」

- ・「使いやすい」「便利」と感じてもらえる商品
- ・「楽になる」「負担が減る」といった体験価値を生む製品

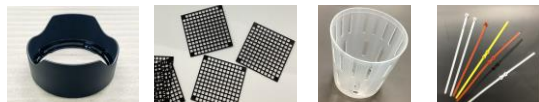
より大きなスケールで、持続可能な形で廃棄物を活用できないか？

- ・廃棄物から価値を創造する「バレル石・ガラスビーズのアップサイクル事業」
写真) バレル石（バレル研磨という工程で使用する研磨石）



技術・設備（環境配慮樹脂成形）

- ❑ 金型設計・製作から射出成形までを社内で一貫対応できる生産設備と技術
- ❑ 自動車部品や光学部品（鏡筒成形）で培った高精度な金型設計・製作技術
- ❑ 小ロット生産や短納期対応が可能な柔軟な生産体制
- ❑ クリーンルームおよび2色成形機を保有
- ❑ 50t～280tの射出成形機を47台保有
- ❑ 流動解析予測による精密な金型製作が可能



2. 生産体制・環境対応

- ✓ 環境配慮型素材のサプライチェーンを構築
- ✓ 品質・環境管理体制（ISO9001・ISO14001準拠）
- ✓ 材料特性に関する知見を活かし素材を選定
- ✓ 新素材や複合材料への対応力

3. リサイクル資源（生産工程から出る廃材）

- ✓ 一定の廃棄物供給量を確保
 - ガラスビーズ（ソーダ石灰ガラス）：約8トン/年
 - バレル石：
 - ✓ バレルA：約5トン/年
 - ✓ バレルB：約10トン/年
 - ✓ バレルC：約7トン/年
- ✓ バレル石の粉碎技術

4. 企業連携・新事業創出

- ✓ 協力企業との強固なネットワークを保有
- ✓ 異業種連携の実績があり、新技術導入に柔軟に対応
- ✓ 自社およびパートナー企業とともに新事業を創出

募集するパートナー像（例）

1. 環境配慮型製品の開発に関心のある企業様

- ・ バイオプラスチック・バイオベースプラスチックの製品化に興味がある
- ・ 園芸・ガーデニング・農業資材の開発や実績をお持ちの企業様
- ・ 介護・介助などの身体補助製品の開発や実績のある企業様

2. 実用性・体験価値を重視する企業様

- ・ 直感的な操作性・手になじむ感触・心地よい使い心地の追求
- ・ 「便利さ」「効率性」「安全性」へのこだわり
- ・ ユーザビリティや人間中心設計に強みを持つ

3. 環境負荷低減・アップサイクルに関心のある企業様

- ・ 廃棄物リサイクル技術に精通し、素材特性を活かせる
- ・ アップサイクル製品の商業化に向けた生産ライン最適化に貢献可能
- ・ 付加価値の高い環境配慮型製品開発に興味がある

4. 市場開拓・販売戦略に強みのある企業様

- ・ BtoB向け市場分析・マーケティングの知見がある
- ・ 素材開発や新しい用途提案に積極的な企業様

 **アイデア段階のご提案も歓迎します！**
互いのアセットや知見を活かし、新たな環境配慮型製品を共創できるパートナーを募集しています。

企業と連携し、新事業の創出を共に進めていきたい。

募集するパートナー

- ・ **環境に優しいプラスチック製品の共同開発**
（園芸・農業分野）
- ・ **環境に優しいプラスチック製品の共同開発**
（介護・介助分野）
- ・ **廃棄物から価値を創造する：バレル石・ガラスビーズのアップサイクル事業開発**

持続可能な未来の実現に向けてともに歩んでいただける企業・団体の皆さまとの連携を心よりお待ちしております

熱意と ビジョン

地域経済とエコ社会の融合
を目指す。

“持続可能な未来を、私たちの手で実現したい。”

ご清聴ありがとうございました